

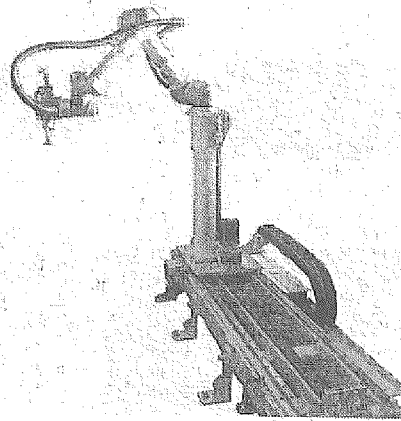
2015年(平成27年)4月8日 水曜日

多関節ロボ 作業範囲拡大

三明機工、スライダークローを開発

ユニバーサル ロボット製専用 自動化要求対応

【静岡】三明機工（静岡市清水区、久保田和雄社長、054・366・0088）は、デンマークのユニバーサルロボット製の小型6軸垂直多関節ロボット専用のスライダークロー（ロボット走行台車）を開発、8日発売する。安全柵なしで稼働できる同ロボットとスライダークローをセットアップした協働作業を提案、生産現場の自動化要求に応える。ストローク長3.5mのスライダークローで価格は150万円（消費税抜き）。販売目標は初年度30台。



垂直多関節ロボット
専用のスライダークロー

スライダークローを活用すれば、ロボットに走行機能を持たせることができ、作業範囲が広がり、多様な工程に対応できる。ロボットの移動範囲を広げたいというユーザーの要望を受けて開発した。スライダークローは任意にストロークを設定可能。最大速度は毎秒800mm。ユニバーサルロボットの小型6軸垂直多関節口

ロボットは低出力タイプ。最適なトルク制限、安全検出機能により、人と接触すると停止するなど安全策を講じており、人の協働作業に対応する。人とロボットの連携による生産現場の自動化促進などを提案し、拡販につなげる。

同ロボットとスライダークローを組み合わせて提供するほか、同ロボット導入先にスライダークロー単体でも販売する。

三明機工はロボット・FAシステム、ダイカストマシン周辺自動化システム、鋳造プラントなどを手がけている。